

各 位

会社名 BASE 株式会社

代表者名 代表取締役 CEO 鶴岡 裕太

(コード番号:4477 東証マザーズ)

問合わせ先 取締役上級執行役員 CFO 原田 健

TEL. 03-6441-2075

(訂正) 「2021年12月期第2四半期決算説明会資料」の一部訂正に関するお知らせ

2021年8月5日付で公表致しました「2021年12月期第2四半期決算説明会資料」に訂正がございましたので、下記のとおりお知らせいたします。訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

「2021年12月期 第2四半期決算説明会資料」におきまして、一部記載に誤りがあったため、訂正を行うものです。

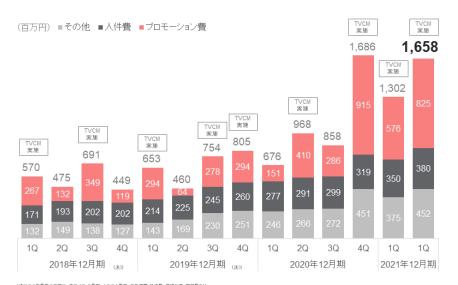
2. 訂正の内容

(訂正前)

連結 販管費の推移

BASE

- · BASE事業のプロモーション費等の増加により販管費は前四半期比+355百万円(同+27.3%)と大きく増加
- BASE事業の持続的な成長を目的としたプロモーションへの先行投資によりプロモーション費が増加
- 。 プロダクト強化等に向けた積極的な採用活動により、人件費やその他費用Gianが増加

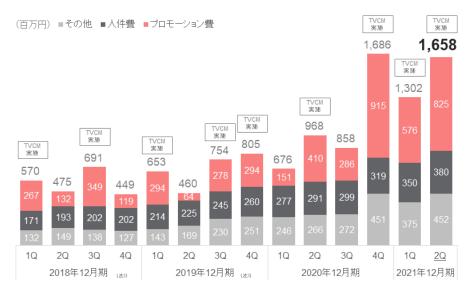


(注)するの態度用の中等は、まにオフィス質用、システム質用、支払電源・外注度、最終の源、視用度など (注)を2010年2回にアルドネタを新設が割し、連絡千余状化を高級したため、2010年3回はかり作品で表々れの連結 (注)を2010年2回にPSSESMN/株式表社を変加し、2017年3回に連絡子変加して安かし、2010年3月は連絡の数値を作業

連結 販管費の推移(訂正後)

BASI

- 。 BASE事業のブロモーション費等の増加により販管費は前四半期比+355百万円(同+27.3%)と大きく増加
- 。 BASE事業の持続的な成長を目的としたプロモーションへの先行投資によりプロモーション費が増加
- ・ ブロダクト強化等に向けた積極的な採用活動により、人件費やその他費用はかが増加



(注目その抱意用の内容は、主にオフィス度用、システム度用、支性電源・外注度、複核心療、視用度など (注述2016年7月)アルギネタを解放分析し、基格子分泌を必須したため、2019 12所は2017年ま全地の連結 (注述2016年7月)日のECEMAN情報を支援と変化し、2017年7月度主発子を発化を発展したため、2019 12所は連結の激複を記載

23

以上